



健康・友愛・奉仕

第103号

発行
米原市伊吹老人クラブ連
編集
米原市伊吹老人クラブ連
広報委員会
米原市伊吹老人クラブ事務局
TEL (0749) 58-1634

地域と人を繋げる活動に明日の社会を託して

伊吹老人クラブ 会長 嶋田 正昭



伊吹地域にお住まいの皆さんには、平素から伊吹老人クラブ連合会の活動に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申上げます。

今年も四季は巡り、厳寒の冬から桜花爛漫の春になり目に青葉の夏を迎えて、靈峰伊吹の大地に息づく人々の生活は、日々脈々と営まれて時代は過ぎ行き、昭和・平成・令和の時代と地域の変遷と共に我々の歩みがあります。

「よどみに浮かぶ泡沫は且つ消え且つ結びて！」と人生を比喻する言葉に、長寿社会にある現在を重ね合わせて、穏やな余生への人生観を願う日常にありながら、何かしら不安定な心情が漂う昨今の世情に憂いを覚えます。

現在の日本社会は、コロナ禍感染拡大や自然災害が相次ぎ続き、加えて東西紛争とも言えるウクライナへのロシアの侵略で、人間の営みの先に変化の地球環境を生み出し、政治や経済・生活の分野に大きな影響が出ています。一方で昨年度は、コロナ禍の自粛生活が続く中で、サツ

カーのW杯やWBC野球等のスポーツ界をはじめ文化芸術・芸能方面で、若者達が躍動し活躍する姿に、多くの高齢者も一喜一憂する感動と喝采の一年でもありました。

令和五年度の伊吹老人クラブ連合会は、昨年度末に二地区・今年度に入つて一地区の単位クラブの解散と脱退があり、地域の単位クラブ七団体・会員数約500名の体制で、令和五年度の行事計画を進められた状況になりました。

近年の老人クラブの減少としては、非常に残念で寂しい状況ではありますが、高齢社会の厳しい地域事情等もあり、脱会等は止むを得ない決断と思慮し、今後とも憂慮すべき団体組織の課題であります。

伊吹老人クラブは、「健康・友愛・奉仕」と「老いて誰もが、尊嚴のある人生を！」を目指して、今まで幾多の先人達の連帯と協調のもとで、地域社会の一翼を担う高齢者団体として、約六〇年間に渡つて諸活動が継続されてきました。

カーナのW杯やWBC野球等の少子高齢化と生活習慣の変化等が進み、長引くコロナ禍予防の自粛影響もあり、各字老人クラブの活動は低迷し会員加入の減少で、組織の維持が困難な状態になるなど各団体の解散が相次いでいます。市社協の調査によれば、米原市の自治会組織一〇八団体の内の約六〇の自治会では、何らかの形で老人クラブ活動が継続されており、人々の繋がりを大切にしながら、奉仕活動等の諸行事が維持されていると聞き及びます。

今改めて、伊吹老人クラブ組織として多様化する令和時代の社会変化に、地域の役割を担い得る連合活動に苦慮する中で、高齢者の孤独と孤立を避け得る活動継続を、次の高齢世代に繋ぎ託することが厳しい状況にあります。

少子高齢化と人口減少が進む伊吹各集落の変貌する実情に思いをしながら、高齢者自身の新たな思考による長寿社会の歩みで、新たな地域間の連帯や各世代が繋がる社会活動が醸成されることを願つて

「のはそう！ 健康寿命、担おう！ 地域づくりを」

（完）

令和5年度伊吹老人クラブ連合会 組織・事業計画

4月21日(金)伊吹地域福祉センター愛らんどに於いて、理事会が開催され、伊吹老ク連の令和4年度事業報告並びに収支決算、令和5年度役員の選任報告、事業計画、予算等についての議案が審議され、すべて承認されました。会員皆様の各種事業への積極的な参加をお願い申し上げます。

組織表

(敬称略)

	役 職	氏 名		役 職	氏 名
企 画 部 会	会 長	嶋 田 正 昭	福 祉 部 会	部 会 長 常 任 理 事	伊 藤 一 司
	副 会 長	上 津 和 雄		副 部 会 長 "	石 河 勝 美
	監 事	立 澤 守		部 会 員 单 老 ク	女 性 代 表
	"	笹 木 正 之		" "	友 愛 担 当
	顧 問	久 保 稔 江	保 体 部 会	部 会 長 常 任 理 事	石 河 勝 美
	部 会 長	上 津 和 雄		副 部 会 長 "	伊 夫 伎 博 夫
	副 部 会 長	嶋 田 正 昭		部 会 員 大 久 保 老 ク	立 澤 守
	部 会 員 常 任 理 事	伊 藤 一 司		" 伊 吹 老 ク	膽 吹 邦 一
	" "	石 河 勝 美		" 春 照 老 ク	大 野 龍 天
	" "	伊 夫 伎 博 夫		" 高 番 老 ク	笹 木 正 之
	" "	欠 員		" 杉 澤 老 ク	高 橋 芳 信
	" "	欠 員		" 村 木 老 ク	柴 栄 正 和
	" "	欠 員		" 藤 川 老 ク	川 並 喜 朗
	" "	欠 員			
研 修 部 会	部 会 長 常 任 理 事	伊 夫 伎 博 夫	広 報 委 員	委 員 長	伊 夫 伎 博 夫
	副 部 会 長 "	伊 藤 一 司		副 委 員 長 副 会 長	上 津 和 雄
	部 会 員 常 任 理 事	嶋 田 正 昭		委 員 常 任 理 事	全 員
	" "	上 津 和 雄		創 造 推 進 員	高 橋 兵 太
	" "	石 河 勝 美			

単位老ク役員・会員数一覧表

(敬称略)

単ク名	会 長	副 会 長	女性代表	友 愛 担 当	会 員 数		
					男	女	計
大 久 保	立 澤 守	澤 井 一 夫	柏 喜 美 子	川 瀬 敏 子	14	23	37
伊 吹	膽 吹 邦 一	伊 藤 治 夫	高 木 喜 三 子	白 谷 肇 子	62	69	131
春 照	大 野 龍 天	福 永 采 造 泊 一 夫	三 原 君 子	福 永 映 子	51	54	105
高 番	笹 木 正 之	大 森 國 昭	北 川 朝 子	荒 木 孝 子	21	27	48
杉 澤	高 橋 芳 信	山 田 孝 治	要 石 幸 子	堤 由 紀 子	33	48	81
村 木	柴 栄 正 和	小 嶋 和 司	和 田 弘 子	角 川 ひ と み	31	37	68
藤 川	川 並 喜 朗	仲 谷 豊 太 郎	高 木 里 子	尾 崎 さ よ 子	23	31	54
計	—	—	—	—	235	289	524

事業実施計画

月	日	曜	行事内容等	場所	月	日	曜	行事内容等	場所
4	13	木	A企画部会	愛らんど・相談室	11	9	木	A秋季GG大会	第1G
	13	木	A広報委員会(編集)	"		10	金	" (予備日)	"
	18	火	AP市町老ク連担当者会議	長寿社会福祉センター		22	水	P第62回県老人クラブ大会	栗東文化芸術会館
	21	金	A理事会	愛らんど・研修室		24	金	A企画部会	愛らんど・相談室
	25	火	P市老ク連第1回理事会	愛らんど・相談室		24	金	A広報委員会(編集)	愛らんど・相談室
5	25	木	A広報委員会(割付)	愛らんど・相談室	2	30	木	P寿ふれあい広場	ジョイ伊吹
	30	火	A保体部会 初夏競技説明会	愛らんど・会議室		8	木	A保体部会(競技説明会)	愛らんど・研修室
6	12	月	A広報委員会(校正)	愛らんど・事務所		14	水	A市老ク連第3回理事会	愛らんど・相談室
	14	水	A初夏複合スポーツ大会	県立G		20	火	A広報委員会(割付)	愛らんど・相談室
	29	木	広報年輪発行	伊吹地域全世帯		21	水	A冬季GB大会(開会式)	すばーくいぶき
7	12	水	AP日帰り研修旅行(役員)	岡崎方面		22	木	" (閉会式)	"
8	3	木	P創造推進等研修会及び ニュースポーツ講習会	長寿社会福祉センター		26	月	P県高齢者相互支援活動研修会	長寿社会福祉センター
	4	金	A友愛訪問品配布	愛らんど・事務所	3	1	金	A広報委員会(校正)	愛らんど・相談室
	23	水	A 福祉部会 友愛情報 交換会・研修会	愛らんど・研修室		5	火	Pスマイルボウリング大会	山麓総合体育館
	24	木	A市老ク連第2回理事会	愛らんど・相談室		18	月	A企画部会	愛らんど・相談室
	24	木	A市老ク連高齢者スポーツ 大会競技説明会	"		27	水	A伊吹老ク連会計監査	愛らんど・事務所
9	29	火	A保体部会 競技説明会	愛らんど・会議室		27	水	A市老ク連会計監査	愛らんど・事務所
	25	月	A研修部会	愛らんど・相談室		28	木	広報発行	伊吹地域全世帯
	27	水	A市高齢者スポーツ大会	長浜ドーム	実施時期未定事業				
10	24	火	A保体部会 競技説明会	愛らんど・会議室	※オプジェ講習(運転技能自動評価システム)				

※Aは午前、Pは午後、APは終日を示す。

冬季ゲートボール大会・スマイルボウリング大会の結果報告

冬季ゲートボール大会

令和5年2月16日～17日

参加 7チーム 参加者44名 すばーく伊吹

順位	チーム名	勝敗	得失点差
優勝	伊吹B	4勝0敗	21
準優勝	高番	2勝2敗	11
3位	大久保・上野	2勝2敗	10
敢闘賞	伊吹A	2勝2敗	7
5位	春照	2勝2敗	-7
6位	杉澤	1勝3敗	-14
7位	藤川・大清水	1勝3敗	-28

スマイルボウリング大会

場所 伊吹山麓青少年総合体育館 令和5年3月7日

参加チーム 14チーム 参加者80名 ★優勝

レーン	チーム名	勝敗	合計得点	チーム名	勝敗	合計得点
1	村木	1勝2敗	93	★伊吹A	2勝1敗	90
	藤川A	1勝2敗	133	高番A	2勝1敗	90
2	★杉澤	2勝1敗	84	藤川B	1勝2敗	101
	大清水	2勝1敗	86	春照	1勝2敗	143
3	伊吹B	1勝2敗	115	★藤川C	2勝1敗	76
	伊吹C	2勝1敗	110			
4	★大久保	2勝1敗	120	高番B	0勝3敗	156
	伊吹D	2勝1敗	121			

組合せは抽選による

伊吹B 伊富貴鉄雄

ストライク賞(敬称略)

高番A 山下秀俊

付記 1レーンで伊吹Aと高番Aが、勝敗及び合計得点が同じでありました。この場合の上位は各試合で最小得点を有するチームが上位となり伊吹Aが1点差で優勝となりました。



单クだより

单ク活動について思うこと



大久保栄寿会

会長 立澤 守

山の緑も日ごと濃くなりさわやかな風薫る季節になりました。新型コロナウイルスが発症してから四年目となり、五月八日から季節性インフルエンザと同じ五類に移行し、感染対策も個人の判断に委ねられましたが、ウイルスがなくなつたわけではないので心配と不安は消えません。栄寿会もこの三年間は、世間全体が自肃ムードの中で十分な活動はできませんでした。屋内での活動は皆さん楽しみにしておられましたが飲食を伴う活動もあり、感染防止のため中止となりました。屋外での奉仕活動（山村広場の清掃作業）のみでした。私も入会して九年目になりますが、会では一番年下です。当時は、会員さんが大勢おられ、ふれあい広場、奉仕活動、研修旅行、米寿を迎えた方の祝賀会、伊吹老人連事業の参加等がありました。この様な場で学ぶこ

と多かったです。当会は、伊吹地区の中でも高齢化率が高く、なくなられた方も多くなり、過疎化も進行しています。現在は三十六名の会員で活動しています。この様な中で老人連のスポーツ行事、研修会に参加する事が難しくなってきました。昔は、六十五歳になると殆どの方が自然と入会されており、会での活動を楽しんでおられたようになります。現代は昔と比べ生活様式が大きく様変わりしており、個人の考えも多様化してしまいます。入会するのに気が乗らないのではないかと思います。今年は、公民館の建て替えがあり、完成後は新しい環境の中で活動が出来ることに期待しています。室内で行うふれあい広場では、一人でも多くの会員さんが参加され、親睦を深められたらと思います。会員の皆さんのが心身ともに健康で過ごされることを願つしました。この様な場で元気な姿を見ることが

新型コロナの収束をみすえて

杉澤老人クラブ

会長 高橋 芳信



は、感染症法上、五月八日から季節性インフルエンザと同じ扱いとなり、ようやくあちらこちらで賑わいが見られ活動が戻ってきている状況に現在は三十六名の会員で活動しています。この様な中で老人連のスポーツ行事、研修会に参加する事が難しくなってきました。昔は、六十五歳になると殆どの方が自然と入会されており、会での活動を楽しんでおられたようになります。現代は昔と比べ生活様式が大きく様変わりしており、個人の考え方も多いままです。入会するのに気が乗らないのではないかと思います。今年は、公民館の建て替えがあり、完成後は新しい環境の中で活動が出来ることに期待しています。室内で行うふれあい広場では、一人でも多くの会員さんが参加され、親睦を深められたらと思います。会員の皆さんのが心身ともに健康で過ごされることを願つました。この様な場で元気な姿を見ることが

できました。そろつてのお出かけも春には牡丹鑑賞会の実施、秋には、近辺の小旅行と会食会を計画しています。近いところが増えてまいりました。

二〇七〇年には総人口は三割減少していき、六十五歳以上の高齢者の人口は増加して高齢化率は四割にも達しました。などの予測も出ています。外出・ボランティア・サークル等の活動頻度が減少していくと身体機能と脳機能の低下とともに介護を必要とする度合いが増加することが言われています。高齢になつても長く元気で過ごせるよう、個々だけでは味わえない地域の活動交流の機会を提供していくとともに、その必要性、重要性、安全性を再認識しながら老人クラブ活動が継続できる端緒になることを願い、クラブ員のみなさまとスクランムを組んで活動を進めてまいりたい

編集後記

新型コロナウイルス感染症は第五類に移行されて、規制が緩和されることになりました。この緩和を受け、今後の事業は少しずつ以前の状態に戻していくそうです。今回の記事としては令和五年度の計画内容を掲載していますが、各単位老人クラブから多数の参加をいただいて交流と情報交換の場として有意義な時を過ごしていただけるようになればと思います。

当連合会に参加されている単位クラブも減少してきて少し寂しい感もあり、連合会本部役員も新たな引き受け手もないまま小数役員で手分けして活動していることから、行き届かない点も多々あるかと思いますが、単位クラブ役員の方々にもご協力いただきながら従来から続いている行事の開催をしていくことになります。

年二回発行の広報紙ですが、今回も令和五年度の行事計画を掲載しています。皆様の積極的な活動参加と老人クラブ運営に格別なるご支援をお願いします。